

# 日本学術会議総合工学委員会主催 安全工学シンポジウム2016

## 技術と倫理

今年で第46回となる安全工学シンポジウムは、安全工学の発展と関連分野の交流を目的とし、特別講演（2講演）、パネルディスカッション、オーガナイズドセッション（17セッション、計86題）、一般講演（9セッション、計58題）を予定しています。

◆ **日時：7月7日（木）、8日（金）**  
9:30～17:20(1日目) / 17:00(2日目)

◆ **会場：日本学術会議**（東京都港区六本木7-22-34）

[交通]東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

主催：日本学術会議総合工学委員会、共催：日本人間工学会 他32学協会

URL：<http://www.anzen.org/index.html>

### 特別講演

7月7日（木）12:40～13:40

「技術者倫理」（仮題）

札幌 順氏（東京工業大学）

7月8日（金）12:40～13:40

「レジリエンス・エンジニアリングとSafety-II」（仮題）

小松原明哲氏（早稲田大学）

### パネルディスカッション・オーガナイズドセッション

PD-1 安全・安心と技術者倫理・研究者倫理(連携PD)  
PD-2 レジリエンス・エンジニアリングの基礎と応用  
OS-1 子どもの安全を守る新たな試み—事故事例から学ぶ  
OS-2 ケーブルの燃焼性状とケーブル火災の問題点  
OS-3 社会基盤システムのモニタリングと安全  
OS-4 老朽化および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理  
OS-5 故障予知と未然防止  
OS-6 事故の再発防止とは～事故防止のあり方を考える  
OS-7 Think Safety First, again.

OS-8 自動車の自動運転システム  
OS-9 技術の安全の考え方—太陽光発電設備の安全／危険の議論を例として  
OS-10 各産業における事故調査の現状とこれからの問題  
OS-11 地域社会の安全を目指したレジリエンスエンジニアリング  
OS-12 安全目標  
OS-13 エレベーターを利用した避難  
OS-14 需要設備の保全高度化に向けた安全技術  
OS-15 共存・協働のための機械安全技術

問い合わせ先：安全工学シンポジウム2016 事務局  
日本大学生産工学部 鳥居塚研究室  
TEL 047-474-2615 FAX 047-474-9759  
E-mail [anzen2016@gakkai-web.net](mailto:anzen2016@gakkai-web.net)

事前登録不要  
参加費無料